



文殊院旨意書 (写真提供:住友史料館)

住友の事業精神

住友の事業精神の源流をたどると、

1650年頃、初代・住友政友が遺した
『もんじゅいんし い が き文殊院旨意書』にまで遡ることになります。

その教えは、近代の「営業の要旨」を経て、
住友グループの事業精神として受け継がれており、
この精神は、住友大阪セメントグループの
企業理念の基盤となっています。

営業の要旨

第一条

住友の事業は、信用を重んじ確実を旨として、その隆盛を期すること。

第二条

時勢を見極め、経営資源を活かして積極的に事業展開すべきであるが、
如何なる場合にも、浮利を求めて軽率に行動してはならない。

(住友社則「営業の要旨」1928年制定)

企業理念

私たちは、地球環境に配慮し、
たゆまない技術開発と多様な事業活動を通じて、
豊かな社会の維持・発展に貢献する企業グループを目指します。

環境理念

住友大阪セメントグループは、地球環境と事業活動の調和を図り、
環境負荷の少ない生産・発電・物流の追求を通じて、
豊かな社会づくりと地球環境保全に貢献します。

行動指針

1. 信用を重んじ、健全な事業活動をおこないます。
2. 法令・規則を守り、社会良識に則って行動します。
3. お客様と社会の信頼や期待に応える製品・サービスを提供します。
4. 時代の変化に柔軟に対応し、効率的経営をおこない、
企業価値の向上をはかります。
5. 人権を尊重し、安全で活力あふれる職場環境をつくります。
6. 社員一人ひとりを大切にします。

Contents

- 1 住友の事業精神／営業の要旨／
企業理念／環境理念／行動指針

イントロダクション

- 2 「存在感のある会社」を目指して
4 At a Glance

価値創造ストーリー

- 8 社長メッセージ
12 価値創造プロセス
14 中長期の価値創造実現に向けて
16 2023-25年度中期経営計画の概要
18 財務戦略
20 マテリアリティ
22 リスクと機会への対応

価値創造戦略

- 26 住友大阪セメントグループの
事業別概況
32 人財戦略
36 工場長メッセージ
39 安全への取り組み
40 人権
42 マルチステークホルダー
コミュニケーション／品質
44 研究開発
45 知的財産
サステナビリティ
47 セメント産業とCO₂、当社の取り組み
48 サステナビリティ推進体制

- 49 サステナビリティ戦略
50 2030年に向けた温室効果ガス
(GHG)削減目標と取り組み状況
52 2050年カーボンニュートラルに向けた
11のステップ
54 CO₂再資源化人工石灰石によるCCU
58 TCFDに基づく情報開示
60 気候変動に関わるシナリオ分析と
影響度評価
62 広範なルール形成活動への対応
64 循環型社会への貢献
66 環境マネジメント
67 環境への取り組み
70 生物多様性・自然資本に関わる
取り組み

ガバナンス

- 76 社外取締役座談会
80 コーポレートガバナンス体制
85 コンプライアンス
86 役員一覧
88 リスクマネジメント
90 情報開示

データセクション

- 91 第三者検証報告書
92 非財務情報ハイライト
94 連結財務ハイライト
96 連結貸借対照表
98 連結損益計算書

- 98 連結包括利益計算書
99 連結株主資本等変動計算書
100 連結キャッシュ・フロー計算書
101 ネットワーク
102 用語集
103 会社概要／株式の状況

参考にしたガイドライン

- GRIスタンダード
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」

報告書の対象範囲

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日
対象会社：住友大阪セメント株式会社およびグループ会社